

慈光

社会福祉法人 遠州仏教積善会
救護施設 慈照園
静岡県浜松市中区鴨江3-4-3
TEL 053-452-3069
FAX 053-452-3074
URL <http://jishoen.jp>

思い返せば、昭和四十一年に慈照園職員として入職。昭和四十六年に理事に就任し、平成十一年より今日まで会長として、約五十年間、奉職して参りました。この間いろいろなことがありました。中でも、平成五年、更生施設から救護施設への種別変更、園舎の新築は大変でしたが、お蔭様で立派な施設ができ大変うれしく思います。平成二十三年には「遠州仏教積善会」法人設立百周年を迎え、さらに、天皇陛下より御下賜金を頂いたことは忘れる



このたび 平成二十九年三月三十一日をもちまして、社会福祉法人遠州仏教積善会会長と理事の職を退任いたしました。今まで格別のご懇情を賜り有り難く厚くお礼申し上げます。

ことの出来ないことです。何より慈照園の利用者や職員、お世話になった皆様お一人おひとりの笑顔を思い浮かべると、いただいたご縁と共に歳月を送ることのできた喜びに感謝するばかりです。

百周年の記念誌に次のように書きました。

「福祉の事業形態は、移りゆく世相やニーズに従い、ずいぶん変化してきました。一口で言うならば、当法人は慈悲と寛容の精神で『セーフティーネット一筋に』百年という長い道のりを歩いて来たと言つても過言ではないと思います。」

社会福祉法人「遠州仏教積善会」、救護施設「慈照園」の益々の御発展をお祈りします。

仏様のご加護がありますように。

合掌

前会長 左右田 夫夫



このたび 平成二十九年四月一日付で社会福祉法人遠州仏教積善会会長に就任いたしました。今後とも倍旧のご指導ご厚誼を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

永平寺での修行後、二十七年間、お寺を陰で支えながら、高校の教壇に立ち、国語を教えてきました。平成十二年に当法人の理事に就任し、法人設立百周年においては記念誌を担当いたしました。明治・大正・昭和・平成と百年を超える時代を福祉一筋で歩んできた伝統ある法人を、先輩の優れた足跡に倣い、僧侶として元教師として、微力ではありますが、福祉事業の重要性を認識して、法人施設

曹洞宗のお經「修証義」第四章には次のようにあります。
「菩提心を發(おこ)すどいは、「ほとけ心に目覺めた生き方をするということは】、己(おの)れ未だ度らざる前に、「自分本位の心を捨て】、一切衆生を度さんと發願し嘗むなり。「人のためのため、生きどし生けるもの全てのものために尽くす」という誓願をおこし、実践することである。】

佛教の理念を大切に行きたいと思います。合掌

社会福祉法人遠州仏教積善会 会長 左右田 泰丈

と地域福祉の発展に尽くして参りたいと存じます。

湖西市障がい者相談支援センターみなづき

相談員 鈴木 隆介

昨年7月、神奈川県相模原市の障がい者施設で重い障害をもつ19名の利用者が殺害されるといった事件が起きました。これまで長年障がい者施設で利用者支援の仕事をしてきた私にとって、この事件が利用者のいのちを守り人権を保障するところの施設で起こったこと、犯行が利用者の人権の担い手であるべき元職員によるものであったことに大変な衝撃を受けました。

「重度の障がい者は生きていても仕方がない。安楽死させたほうがいい。」といった動機で、利用者のいのちが無残にも奪われたことへ怒りが湧きました。人の命はそんなに軽いものでしょうか。どんなに障害が重くともそれぞれ異なる体験があり、人生があったはずです。好きな人や楽しい時間、好きなこと嫌いなことについても表現していたに違いありません。

一人ひとりかけがいのない存在だったはずです。ひとり一人誰もがかけがいのない命です。命に優劣はつけられず、決して誰かの手で奪われてよいものではありません。こうしたことが二度と起こらないよう、すべての人たちがしっかりと一人ひとりの命の重さを胸に刻まなければなりません。



ボランティアの女子高生から
渡してもらい緊張？！

ビバ慈照園フェスタ

大学で言えばオープンキャンパスのような、地域に施設を開放し知ってもらいたい。そのような趣旨で毎年「地域体験交流会」と題し行ってきました。今年からは「ビバ慈照園フェスタ」と表題を変え中身もラテンのノリに変更。近隣の大学・学生にも今年は告知しました。

学芸高校ボランティアクラブ、精神保健ボランティアをはじめ、多数のご参加を頂きました。精神保健センターにもお世話になりました。その後食堂に移動し、冷たいわらび餅で利用者と来園者が歓談。更に会議室にて来園者と当法人の新会長、園長を交え来園者の感想を聴かせて頂きました。

稻垣 久美子 様	健康体操・買い物付添い	【ボランティア】	バス苗 松庵 内田 様	味噌汁セット	マルコメ株式会社様	タオル	黒棒と経本 杉山 晴康 仙林寺	タオル 杉山 晴康 住職様	【寄付】 ありがとうございます
----------------	-------------	----------	----------------------	--------	-----------	-----	-----------------------	---------------------	--------------------

写真氏名は本人の同意の上掲 載しています。	青島 孝宗 様	六月 大昌寺 様	五月 杉山 晴康 様	四月 左右田 泰丈 様	五月 仙林寺 瑞生寺 様	四月 毎月十八日は、観音様のご法話を頂きました。	毎月十八日は、観音様のご法話を頂きました。	毎月十八日は、観音様のご法話を頂きました。	毎月十八日は、観音様のご法話を頂きました。
--------------------------	---------------	----------------	---------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

苦情解決状況 平成29年4月～5月			
性別	所属	内 容	てんまつ
女性	利用者	病気で思うように、内職作業ができない養護老人ホームに移りたいが、まだ先のようだ。どうしたら良いか。	老人ホーム移行に、職員は心を碎いています。時間をください
女性	利用者	特に問題ないが、これまでの生活の振り返りを勧められ第三者相談員さんに相談をかけた。	入園以来、順調に生活が送られている。これを継続ていきましょう。

花まつり

愛恵保育園の園児さんをお迎えして、今年も「花まつり」が盛大に行われました。4月10日は好天に恵まれ、お釈迦様のお誕生日をお祝いするのに相応しい日となりました。

今年も27名の天使たちが来園してくれました。セレモニーが厳かにとり行われ、その後は園児さんとの交歓会を持ちました。園児さんからは、「靴が鳴る」と「春が来た」の2曲がプレゼントされ、天使の歌声に心が洗われました。お返しに当利用者からは「めだかの学校」が歌されました。大人が恥ずかしさを堪えて歌うのは、意外に味わい深いものでした。



艶やかに、可愛らしく

ウォーキング大会

若葉のフレッシュな香りに、伸びやかになる季節を楽しもうと、5月1日に新緑ウォーキングを開催しました。

利用者は4、5名程のグループに分かれ自分達で、コースを設定しました。佐鳴湖まで歩いたり、近くの覗塚遺跡や鴨江観音でゆっくりと過ごしたり、自分達なりの新緑の楽しみ方が出来ました。

明るい日差しの中に、さやかな風を感じて気持ち良い1日を過ごしました。また、地域社会の一員として園の外の生活に触れ、いきいきとした利用者の顔が見られました。



新緑の爽やかな風

気分は小学校の遠足！

新企画！「職員研修」

学ぶ者は老いず



書いてくださいと、指示がありました。皆の結果を見てみると、様々な「線の上に丸」が書かれていました。物事に対する、自分の捉え方と他者の捉え方は違うことが分かり、どれも正解だということを知りました。グループ内で意見を発信する、相手の意見を受け入れることは、まさに私たちが日頃行っている利用者支援に繋がるものでした。

チームが一つになって目標に向かっていく為に何が必要か、職員一人一人がそれぞれの課題、刺激を感じた研修でした。終了後、大変意味のある、効果的な研修であったと職員から感想が聞かれました。今後も定期的に、この研修を続行します。



クリーン作戦

6月1日は毎年恒例のクリーン作戦を行いました。地域の公園や広場の清掃を通して、地域の一員であることの自覚を促し、奉仕の心を養うことが狙いです。4グループに分かれ根上松公園、拘置所前広場、愛恵保育園、三組町広場に清掃用具を持ち出発。当日は曇りでしたが、蒸し暑さ本番。休憩をはさみ気持ちの良い汗を流させて頂き、心の中には青空が見えました。

盆踊り大会のお知らせ

今年も花火やオモチャを、用意
してます。夏休みの想い出作りに！

平成29年7月25日(火)
慈照園 園庭にて

是非来てくださいね
※雨天中止です



5月19日、外部講師赤堀労務士による職員研修が行われました。テーマは「チームワーク」でした。施設の外での研修は、毎年職員が参加しているものの、施設の内部での、このような研修は初めてでした。

職員が年代を問わず一同に会して学ぶことは楽しくもあり、刺激的でした。導入の部分で講師から「線の上に丸」を